

8 施策の進捗管理

「道路整備中長期計画」の施策展開にあたっては、PDCA サイクル(「計画の作成」→「施策の展開(実施)」→「施策の評価(検証)」→計画策定から概ね 5 年後に「計画の見直し(改善)」)を継続的に繰り返すことによって、実効性のある施策を実施していきます。

また、本計画に基づく事業箇所については、事業の進捗に合わせて毎年度更新する必要があるため、別冊の「北九州市道路整備中長期計画に基づく事業箇所一覧表」としてとりまとめています。



長期的な構想・計画への対応

本計画は、概ね 10 年以内に取り組んでいく施策を対象としています。一方で、道路の整備は、構想から計画、事業着手まで 10 年を越える期間を要するものも多くあります。

このため、現在構想段階のものや、今後の経済・社会情勢の変化に伴い新たに必要となる道路については、その計画が明確になった時点で、本計画に反映させていきます。